



2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月14日

上場会社名 日創プロニティ株式会社 上場取引所 東 福
 コード番号 3440 URL <https://www.kakou-nisso.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-555-2825
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	9,100	75.7	533	74.3	611	82.3	1,853	847.0
2022年8月期第3四半期	5,180	△10.2	306	△18.2	335	△23.1	195	△28.6

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 1,857百万円 (859.8%) 2022年8月期第3四半期 193百万円 (△31.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	285.63	283.25
2022年8月期第3四半期	30.41	29.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	23,154	11,488	49.5
2022年8月期	14,482	9,727	66.8

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 11,458百万円 2022年8月期 9,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,900	61.4	580	61.7	645	62.6	1,900	—	292.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）ニッタイ工業株式会社 除外 1社（社名）－

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期3Q	7,360,000株	2022年8月期	7,360,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	856,350株	2022年8月期	892,350株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期3Q	6,489,936株	2022年8月期3Q	6,437,221株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策の各種政策変更に伴い、個人消費活動や訪日客増加によるインバウンド需要に加えて、企業の設備投資活動も回復傾向をたどりましたが、一方で円安や資源高によるコスト増加圧力を懸念した慎重な動きもみられました。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に起因する直接的な影響は軽微であったものの、ウクライナ情勢等を受けた資源・エネルギー価格の高騰や急速に進んだ円安の影響もあり、先行き不透明な状況が続くものと見込んでおります。

このような状況の中、当社グループは「第3次中期経営計画“Challenge”」に基づき、加工を通じてお客様のあらゆるニーズに応える企業グループを形成していくため、当第3四半期連結会計期間において、畜産排泄物処理プラントの設計、製造、施工、メンテナンスを行っている株式会社天神製作所を子会社化いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、当社グループは、新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組み、主として金属加工事業において金属サンドイッチパネルを中心にオーダー加工品の案件が増加したことと、建設事業における電気工事及び内装工事の伸長やM&Aによりグループ化した株式会社ワタナベテクノス及び株式会社エヌ・テクノス、並びにニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社の業績寄与等により、売上高は9,100百万円（前年同四半期比75.7%増）、営業利益は533百万円（同74.3%増）、経常利益は611百万円（同82.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,853百万円（同847.0%増）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。また、第2四半期連結会計期間において、ニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社を子会社化したことに伴い、報告セグメントとして「タイル事業」を追加しております。

（金属加工事業）

金属サンドイッチパネルを中心にオーダー加工品の案件が増加したこと、M&Aによりグループ化した株式会社ワタナベテクノス及び株式会社エヌ・テクノスの業績寄与により、売上高は4,092百万円（前年同四半期比21.5%増）、セグメント利益は374百万円（同36.0%増）となりました。なお、受注高は5,430百万円（同61.5%増）、受注残高は3,000百万円（同119.0%増）となりました。また、2023年3月13日付けで株式会社天神製作所を子会社化いたしました。みなし取得日を2023年5月31日としているため、当第3四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しており、同社に関する業績は同セグメントに含まれておりません。

（ゴム加工事業）

既存取引先との関係強化に積極的に取り組み、一定の受注を確保しましたが、材料費率が若干上昇し売上高は823百万円（前年同四半期比3.8%減）、セグメント利益は151百万円（同24.4%減）となりました。なお、受注高は794百万円（同7.5%減）、受注残高は91百万円（同14.0%減）となりました。

（建設事業）

電気工事や内装工事を中心に営業活動に取り組んだことや、M&Aによりグループ化した株式会社壹会の業績寄与により、売上高は3,316百万円（前年同四半期比246.3%増）、セグメント利益は500百万円（同613.3%増）となりました。なお、受注高は3,405百万円（同102.8%増）、受注残高は2,887百万円（同52.0%増）となりました。

（タイル事業）

新商品及び自社湿式製品のPR活動に取り組み、一定の受注を確保しましたが、エネルギー資源の高騰や一時的に発生した修繕費等の影響により売上高は868百万円、セグメント損失は△120百万円となりました。なお、受注高は877百万円、受注残高は1,177百万円となりました。

（注）セグメント利益の合計額と営業利益との差異△371百万円は、主として、子会社株式の取得関連費用△145百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△237百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は15,455百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,761百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加（5社）により、現金及び預金が2,447百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,185百万円、電子記録債権が654百万円、商品及び製品が938百万円、仕掛品が306百万円、原材料及び貯蔵品が233百万円それぞれ増加したことによるものであります。また、固定資産は7,698百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,910百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加により、建物及び建築物（純額）が624百万円、機械装置及び運搬具（純額）が612百万円、土地が1,777百万円、のれんが224百万円それぞれ増加し、建設仮勘定が641百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は23,154百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,672百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は6,289百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,025百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加により、支払手形及び買掛金が790百万円、短期借入金1,770百万

円、1年内返済予定の長期借入金が674百万円、未払法人税等が236百万円、流動負債のその他が477百万円それぞれ増加したことによるものであります。また、固定負債は5,376百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,886百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加により、長期借入金が2,191百万円、固定負債のその他が564百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は11,665百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,911百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は11,488百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,760百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は49.5%（前連結会計年度末は66.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年4月14日の「特別利益（負ののれん発生益）の計上、第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,753,467	8,200,579
受取手形、売掛金及び契約資産	2,294,855	3,479,889
電子記録債権	419,905	1,074,837
商品及び製品	143,015	1,081,355
仕掛品	238,302	544,540
未成工事支出金	20,644	19,754
原材料及び貯蔵品	501,504	735,155
その他	327,783	325,450
貸倒引当金	△5,119	△5,753
流動資産合計	9,694,358	15,455,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,809,391	2,434,323
機械装置及び運搬具(純額)	757,403	1,369,540
土地	954,521	2,731,679
リース資産(純額)	40,443	48,817
建設仮勘定	660,000	18,744
その他(純額)	49,564	70,680
有形固定資産合計	4,271,323	6,673,784
無形固定資産		
のれん	237,533	461,583
その他	70,748	90,297
無形固定資産合計	308,282	551,881
投資その他の資産		
投資有価証券	43,378	95,935
その他	164,788	376,727
投資その他の資産合計	208,167	472,663
固定資産合計	4,787,773	7,698,328
資産合計	14,482,132	23,154,138

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	275,687	1,066,438
工事未払金	301,915	235,553
短期借入金	500,000	2,270,000
1年内返済予定の長期借入金	522,791	1,196,803
未払法人税等	169,858	406,420
賞与引当金	40,944	179,523
資産除去債務	—	3,700
その他	452,890	930,753
流動負債合計	2,264,088	6,289,193
固定負債		
長期借入金	2,065,020	4,256,317
退職給付に係る負債	156,915	156,224
資産除去債務	101,362	232,877
その他	166,756	730,833
固定負債合計	2,490,055	5,376,252
負債合計	4,754,143	11,665,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,968	1,176,968
資本剰余金	1,096,968	1,096,968
利益剰余金	8,113,015	9,867,108
自己株式	△713,003	△684,238
株主資本合計	9,673,948	11,456,806
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,784	2,161
その他の包括利益累計額合計	△1,784	2,161
新株予約権	55,825	29,725
純資産合計	9,727,988	11,488,692
負債純資産合計	14,482,132	23,154,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	5,180,159	9,100,597
売上原価	3,909,694	7,026,077
売上総利益	1,270,464	2,074,520
販売費及び一般管理費	964,079	1,540,588
営業利益	306,384	533,932
営業外収益		
受取利息	74	46
受取配当金	1,997	2,218
匿名組合投資利益	18,937	—
補助金収入	9,135	75,538
その他	7,555	26,255
営業外収益合計	37,701	104,059
営業外費用		
支払利息	7,654	19,964
その他	750	6,092
営業外費用合計	8,405	26,056
経常利益	335,680	611,935
特別利益		
固定資産売却益	9	429
負ののれん発生益	—	1,535,686
投資有価証券売却益	—	270
特別利益合計	9	1,536,387
特別損失		
固定資産売却損	10	222
固定資産除却損	7,381	1,116
投資有価証券売却損	—	849
特別損失合計	7,392	2,188
税金等調整前四半期純利益	328,297	2,146,134
法人税、住民税及び事業税	148,974	299,931
法人税等調整額	△16,418	△7,533
法人税等合計	132,555	292,397
四半期純利益	195,741	1,853,736
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	195,741	1,853,736

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	195,741	1,853,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,190	3,946
その他の包括利益合計	△2,190	3,946
四半期包括利益	193,551	1,857,683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,551	1,857,683
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

株式会社ワタナベテクノス及び株式会社エヌ・テクノス、並びにニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社を子会社化したことに伴い、第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

また、株式会社天神製作所を子会社化したことに伴い、当第3四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

なお、ニッタイ工業株式会社は、当社の特定子会社に該当しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年9月1日 至2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,367,225	855,321	957,612	5,180,159	—	5,180,159
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,367,225	855,321	957,612	5,180,159	—	5,180,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,344	1,351	—	19,696	△19,696	—
計	3,385,569	856,673	957,612	5,199,855	△19,696	5,180,159
セグメント利益	275,642	199,933	70,135	545,712	△239,327	306,384

(注) 1. セグメント利益の調整額△239,327千円は、セグメント間取引消去18,301千円、子会社株式の取得関連費用△28,161千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△229,467千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2022年9月1日 至2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	タイル事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	4,012,725	823,062	3,316,591	868,224	9,020,604	—	9,020,604
その他の収益	79,993	—	—	—	79,993	—	79,993
外部顧客への売上高	4,092,719	823,062	3,316,591	868,224	9,100,597	—	9,100,597
セグメント間の内部売上高 又は振替高	251,862	4,117	14,760	40	270,780	△270,780	—
計	4,344,581	827,179	3,331,351	868,265	9,371,377	△270,780	9,100,597
セグメント利益	374,794	151,186	500,282	△120,938	905,324	△371,391	533,932

(注) 1. セグメント利益の調整額△371,391千円は、セグメント間取引消去11,811千円、子会社株式の取得関連費用△145,320千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△237,882千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの追加)

第2四半期連結会計期間において、ニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社を子会社化したことに伴い、報告セグメントとして「タイル事業」を追加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「金属加工事業」セグメントにおいて、株式会社天神製作所を子会社化したことに伴い、同社を当第3四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、251,110千円であります。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
金属加工事業	3,037,034	124.7
ゴム加工事業	431,280	106.7
タイル事業	193,942	—
合計	3,662,257	129.0

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値であります。
2. 当社は、株式会社天神製作所の株式を取得しましたが、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末(2023年5月31日)としているため、金属加工事業において、同社の生産実績は含まれておりません。
3. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績を記載しておりません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
金属加工事業	5,430,971	161.5	3,000,557	219.0
ゴム加工事業	794,723	92.5	91,268	86.0
建設事業	3,405,002	202.8	2,887,697	152.0
タイル事業	877,602	—	1,177,817	—
合計	10,508,300	178.1	7,157,340	212.0

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 当社は、株式会社天神製作所の株式を取得しましたが、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末(2023年5月31日)としているため、金属加工事業において、同社の受注高は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
金属加工事業	4,092,719	121.5
ゴム加工事業	823,062	96.2
建設事業	3,316,591	346.3
タイル事業	868,224	—
合計	9,100,597	175.7

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
株式会社大林組	—	—	1,367,748	15.0

前第3四半期連結累計期間の株式会社大林組については、当該割合が100分の10未満のため、記載を省略しております。

3. 当社は、株式会社天神製作所の株式を取得しましたが、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末(2023年5月31日)としているため、金属加工事業において、同社の販売実績は含まれておりません。